

新政クラブ

一般質問

どう取り組む？

西条市版地方創生

問 地方創生において、雇用の安定と経済基盤の確立は必要不可欠な要素であると同時に、地域間競争に勝ち抜いていくためには、特色ある取組が求められる。今後、西条市版地方創生において、どのような取組を進めていく考えなのか。

答 本市では、広く企業活動を支援し、産業の活力を喚起することで、安定した雇用の場の確保と多様な就業機会の創出につなげていくことが重要課題であると認識しており、これまでさまざまな産業施策に取り組んできた。特に、株式会社西条産業情報支援センターにおいては、企業経営に役立つ生きた情報の

提供や、きめ細かな経営支援体制を構築し、企業のニーズや課題に応じた支援を実施してきた。

また、企業立地促進条例に基づく奨励措置の活用や拡充などに取り組む、積極的に企業誘致を推進するとともに、農業分野においては、全国に先駆けた総合6次産業都市の実現に向けた取組により、企業2社が設立され、新たな雇



株式会社サンライズ西条加工センター

このような本市独自の各種産業施策に取り組んでいきたい。更に、地域間競争に勝ち抜くための方策としては、今後、地域間の競争がますます厳しくなる中で、住民や企業に「選ばれる地域」になることが必要であり、地域の魅力を伝えていく努力が不可欠である。そのためには、魅力あるまちづくりと積極的な情報発信により、知名度とイメージを高め、「住みたいまち」「訪

取組が重要と考えている。また、現在、企業活動や産学官連携支援など、西条市版地方創生のまちづくり推進における活動拠点となる(仮称)地域創生センターの整備を進めており、市内企業と大学との共同研究などによる産業振興・雇用創出の効果が期待されている。

一方で、地方から大都市への「人の流れ」を変えるためには、近隣自治体間の連携・協力による圏域の活性化を図ることも必要と考えており、これら施策の展開により、本市への人の流れを創り出していききたい。

市民が丸となり心温まるおもてなしを！

問 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会を成功に導くためには、施設の整備はもとより、市民がさまざまな形で大会の運営に関わり、全国から訪れるかたがたを温かく迎えることが重要である。

本市においては、それらの取組を計画・審議・決定する組織として、平成25年11月に第72回国民体育大会西条市準備委員会を立ち上げ、現在、諸準備を進めているところであるが、これまでの準備状況のほか、今後の予定、各種の市民ボランティアの募集について、どのように取り組んでいるのか。

答 西条市実行委員会では、西条市開催総合計画や市民運動実施計画、ボランティア募集要項などを審議・決定してきた。また、先催県の大会の視察をはじめ、各種イベントでの啓発グッズの配布や国体パネル展の開催のほか、国体通信SAIJOの発刊、ポロシャツの着用など、



西条市実行委員会総会の様子

広報活動を行い、開催機運の醸成を図ってきた。今後は、大会運営ボランティアや協賛の募集、花いっぱい運動やクリーン活動を展開し、更なる情報発信やPR活動を行っていく予定である。また、大会運営ボランティアについては、平成27年9月末より500名のスタートを募集することとしており、応募者には、今後、研修会や説明会に参加していただき、おもてなしのスキルアップを図り、リハーサル大会や本大会の運営に携わっていただきたいと考えている。